**12月13日　株式会社アカツキ　共同創業者　代表取締役　CEO　塩田　元規　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

世界一偉大な会社を作り、幸せを伝染させるという信念を強く持って経営をやっていくという姿勢がとてもかっこいいなと思いました。一週間毎日欠かさず勉強をし、1日3時間睡眠というストイックさでここまで成長させた塩田さんは本当にすごいです。私も社会にでるには今のようなぬるい生活を一新して、もっとストイックにやっていかなければいけないなと感じました。頭が良い悪いで経営に向いているかわからないからこそ意思決定をしっかりできなければいけないなと思いました。なにもない本当にゼロなところから本気でチャレンジし続けてきたその姿勢を見習いたいです。（経営学部　国際経営学科　1年）

塩田氏の経歴を聞いて、非常に多くの困難があったことがわかりました。そんな中でも困難に立ち向かう姿勢を聞いて、自分の中で一つ何かを成し遂げるという芯があれば諦めずに立ち向かえることがわかりました。また、誰かにお金を借りられるほど他人から信頼を置かれることの偉大さがわかりました。実際、現時点で自分が誰かから巨額を借りられると思わないので、塩田氏の信頼関係の築き方の凄さを痛感しました。新卒採用など世界に響く偉大な会社が行うことは常識を打ち破るようなことをやっていると知り、非常に驚きました。困難は実はギフトと聞いて、確かにとらえ方次第でその困難を何十倍にも大きくして成長につなげられることがわかりました。（経営学部　経営学科　4年）

　夢が多く、経営者として楽しい人生を送っているなという風に思った。過去に講演に来てくださった経営者の方もそうだったが、苦しい時を経て今現在の状況に至っており、簡単な言葉だが諦めない気持ちが大事なのが分かった。社員に対してもただ働いてもらうのではなく、コミュニケーションを継続的にとる活動やオフィスのおしゃれ感などとても働きやすい環境を作っていることにも経営の努力を感じた。話し方や雰囲気など、ついていきたいと思えるような方だったのが印象的で、楽しそうな感じが僕も目指しているところなのでとても勉強になるお話だった。(経営学部国際経営学科　1年)

　「人生は有限。毎日を本気で生きる」という言葉には感銘を受けました。塩田さんは創業以来多くの困難や成功を経験してきて一生懸命今を生きている感じが伝わってきた。また、ベンチャーだからこそ社員同士の関係やモチベーションがいかに大切かがわかりました。また、スライドにあった「絶対に成し遂げる覚悟」は就職後だけでなくこれからの人生で必要なことだと思いました。(経営学部国際経営学科　1年)

塩田さんご自身が自分のすること、会社に誇りを持っていることがすごく伝わってきました。世界をわくわく、元気にさせるには、自分のわくわく、元気からとおっしゃっていましたが、本当に塩田さんの熱意にわくわくさせられるご講演でした。「絶対にうまくいく」という考え方、輝く人に共通している考え方のように思いました。特に印象に残ったのは、「死ぬ気で勉強、努力という自信をつける。」という言葉と、「今の能力なんて何も関係ない」という言葉で、今私は自分に自信を持てるような能力はないけれど、それを努力で補っていければと思いました。素敵なお話ありがとうございました。（経営学部　会計・情報学科　1年）

塩田さんの人間性が会社を大きくし、支えていることがとても伝わりました。「起業したい」「やりたいことがやりたい」という夢は、誰もが持っている夢だと思います。その中で、１０年以上続く会社は一握りだという話がありますが、「アカツキ」も危険な状態を何度も繰り返したうえであきらめないで継続した結果が今の成果につながっているのだと思います。自分も、はじめは苦しいということが実感できたので、そこであきらめない、ブレない芯を持って頑張りたいと思いました。２０２０年以降アカツキが目指しているビジョンがどれだけ達成しているかを楽しみにしています。（教育人間科学部・学校教育課程・４年）

「会社の本質はチーム」という言葉はたいへん印象に残りました。毎朝のレクリエーションや定期的に行われる合宿を大事にしていると聞いて、遊びから学びとるものもあるのかな、と思い、与えられた仕事を事務的にこなすよりも遊びにも全力で取りくむことの大切さを学びました。「全ては終わりを描くことから始まる」という言葉も印象深かったです。いつ死んでもおかしくないのだから常に自分の描いた終わり(=目的)を思いながら実現に向けて行動することが重要なんだと考えました。人からお金を借りられるというのはそれだけ人から信頼されているということだと知って、なるほど、と思いました。お金を借りるに限らず、自分が何かに困っているときにたくさんの人から助けてもらえるように、今から友達に誠実に向き合いたいと思います。（経営学部経営学科1年）

国大の先輩である塩田さんの話は、とても現実的で興味深かった。AKATUKIという企業は今日初めて知ったのだが、ものすごい利益を上げているベンチャー企業であると知って、とても驚いた。同じ国大の先輩がここまで成功しているのを見て、とても誇らしく思うと同時に、私も見習いたいと思った。私も就活を視野に入れていて、就職した先輩の話を伺うこともあり、聞いているだけで病みそうな話や体験談に、すごく嫌悪感を抱いていた。日本で就職するなら、本当にそのような環境に身を置くしかない、と半ば諦めていたのだが、そのような状況を自分の力で変えていく企業を作った塩田さんはすごいと思った。今の日本はAKATUKIのような企業はまだまだ少ないと思う。下の者が上の者に抑圧されて、生産効率が下がるような日本風の組織のあり方を変える、そのような選択肢があるのだ、ということを学ぶことができた。（経営学部経営学科２年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

塩田さんは起業する年齢を事前に決めていたと話していた。自分自身でも、数年後にどんな姿でいたいのか決めようと考えていたので、先日購入した来年度の手帳に数週間ごとに目標を設定するページを設けようと思う。（経営学部・国際経営学科・1年）

今日の講演では、折に触れて塩田社長の“行動力の高さ”に気付かされることが多かったです。具体的には、20歳という若さで企業の社長たちに話を(断られながらも)伺うだとか、そういう点です。今回の塩田さんに限ったことではありませんが、経営者の方々には行動力が高い人が多いなと正直感じます。「何もしないリスクを恐れろ」と井上先生がおっしゃっていたように、自分も何か行動を起こせれば、と思います。(経済　経済システム1年)

ここ最近バイトにインターンにサブゼミにその他興味のあるものに参加していて、楽しむどころか忙殺され始めているのを感じていました。ですが、もともと始めた理由をちゃんと見つめなおしてもう一度走り出さないといけないと気づきました。（経済　国際経済2年）

**授業スタッフの感想**

今回の塩田さんの講義は、自分の経験を踏まえて説明することに重視してくださったので、本当にわかりやすく、イメージしやすい講義だったと思います。講義は勿論のこと、塩田さんのエネルギッシュな人柄や、目標を明確にして覚悟をもって取り組む姿勢など、塩田さん自身から学ぶことも数多くありました。「人生は有限である」ので、本日の講義で学んだことを今後の学生生活や人生に活かし、充実したものにしていきたいと思いました。

* なお、この日の塩田氏のご講演は、logmiに記事として掲載されている(下記URL)。

<http://logmi.jp/179128>

<http://logmi.jp/179196>

一部抜粋

**「何をやっているか」ではなく「なぜやるか」**

ここまでは会社の表に見えてる部分のご紹介でしたが、一番大事なことは「何をやっているか」ではなく、「なぜやるのか」ということなんです。みなさんの勉強もそうだと思いますが、「何を勉強しているか？」ということより、「なぜ勉強しているのか？」ということが一番大切だと思っています。つまり、ビジョン＝ラフテルが大切だということですね。我々のビジョンは、「感情を報酬に発展する社会を作る」です。これは何かというと、一人ひとりが自分の心のワクワクとか、「自分は何をやりたいんだっけ？」ということに向き合いながら活動をすると、それ自体が幸せだと思うし、その活動がほかの人の幸せにもつながるという世界です。